

※子育てセミナー事業については、6月1日から(午前9時から午後5時まで、日・祝は除く)受付します。
 幼児については、保護者同伴でお願いします。必ず上靴を持ってきてね!

日	時間	事業名	内容	定員
6月 5日(土) 12日(土) 19日(土) 26日(土)	14:00~16:00	子ども広場	「将棋広場」 ~初めての人・少しでも興味を持った人は、 気軽に参加してください~ 対 象:おおむね小学1年生~6年生 ※開催日が変更になる場合があります。	なし
6月10日(木)	10:00~11:30	子育てセミナー	「親子体操」 ~親子で楽しく体を動かそう!~ 講 師:山本尚明氏(体育文化指導協会) 場 所:青少年児童センター 体育館 持ち物:水筒・タオル・着替え・親子とも体育館シューズ ※定員はありませんが、初めての方は事前に申込が必要 です。	なし

サラダボール

第40回 部落解放・人権夏期講座を受講して

私は、昨年8月19日から21日の3日間、わたり和歌山県にて、部落解放・人権夏期講座を受講してきました。同講座は、部落問題をはじめとするあらゆる差別の撤廃を目指して毎年開催されており、昨年は、1970年8月に第1回が開催されてから、ちょうど40回目という記念すべき年にあたりました。中には40回連続受講しているという非常に熱心な方もおられました。

講座が開かれたのは、ユネスコの世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の高野山でした。高野山は、およそ1,200年前に弘法大師空海によって開かれた真言密教の修行道場であり、全国に広がる高野山真言宗の

総本山で、標高約900mの山の上の盆地にあり、そこには、さまざまなお堂や塔が立ち並び、仏像や曼荼羅が参拝者を迎えます。また、鬱蒼とした杉林に囲まれた奥の院には、太閤秀吉から太平洋戦争の英霊まで、さまざまな人々のお墓が立ち並んでおり、日常から切り離された空間は、講座に集中するには格好の環境でした。

同講座は、約20ある講演・課題の中から各々が受講したい講演・課題を自由を選択して受講するというもので、私は、「行財政改革と人権—自治体人権行政の基本的視点とは」、「部落解放運動のリーダーに聞く」など6つの講演・課題を受講しましたが、どの講演・課題も講師、受講者とも非

常に熱心で、感極まって涙ぐむ講師もおられるほどでした。

これからの部落問題は、単に部落問題だけで考えるのではなく、国際的な枠組みの中で捉え、世界中のマイノリティとの連携が大切になっていきます。日本が人権後進国であるという言葉はショックでしたが、この部落解放・人権夏期講座を受講したことは、国際社会の中で日本が真に差別の無い国として認められ、全ての人が差別を受けず幸せに暮らしていくために、一人ひとりが、特に自分自身が何をすべきかを考える良いきっかけとなりました。

(人権推進課)